

研究課題名	持続脳波モニタリング下の心停止後症候群におけるフルマゼニルの投与の影響調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹
研究期間	(西暦) 2024年5月 ～ 2033年3月
研究の意義・目的	ミダゾラムは集中治療室における鎮静薬で頻用されている。心停止後症候群では長時間投与や腎機能障害を合併している場合、作用がしばしば延長することが知られている。心停止後症候群では、患者予後を判断する際にミダゾラムの遷延は交絡になりうる。心停止後症候群においてミダゾラムが使用されていた症例において、フルマゼニルによる拮抗があたえる影響に関して言及した報告はなく、さらに、健常人を対象としてベンゾジアゼピン系薬剤の拮抗が与える脳波変化を報告した研究は複数あるが、心停止後症候群で重篤な脳損傷が存在する症例に関して、脳波変化を報告した研究もないため、本検討を行うこととした。
研究の方法 (対象期間含む)	方法:後ろ向き観察研究 対象期間・対象:2018年4月1日から2024年3月末まで心停止後症候群で当院集中治療室に入院した患者で持続脳波モニタリングが実施され、フルマゼニルが投与された症例 調査項目: 性別、生年月、入院日、退院日や臨床情報(採血データ、神経学的所見)、脳波データ、心肺蘇生の時間経過 主要評価項目 フルマゼニル投与前後の脳波変化(視覚的分析、時間周波数解析) 副次評価項目 退院時意識状態、modified Rankin scale、発作の有無、てんかん性放電の有無
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①後ろ向き観察研究であり、診療録より情報を収集し統計学的解析を行う ②調査項目:性別、生年月、入院日、退院日や臨床情報(採血データ、神経学的所見)、脳波データ、心肺蘇生の時間経過 ③研究責任者 救命救急科 鈴木 秀鷹 ④救命救急科 鈴木 秀鷹
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525